

校訓

ひろい心で さわやかに



令和5年度

和光市立広沢小学校

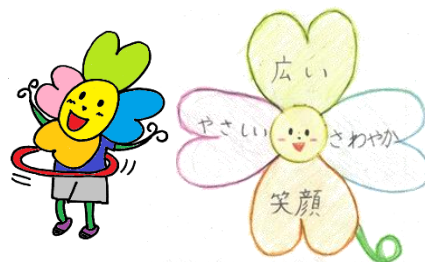
学校経営方針

学校教育目標
未来を拓く児童が育つ

【広沢小イメージキャラクター】



【「さわやかニ」】



【「よつひろ」】

1 学校教育目標

「未来を拓く児童が育つ」

「未来」とは、個人の未来であり、社会の未来でもあります。また、将来大人になる頃の未来であり、今解いている問題を解く数分、数秒後の未来でもあります。

広沢小学校には、世界各地から転入してくる子供たちがたくさんいます。一人一人の現在地や目指すゴールはそれぞれ違い、時点やスパンによっても多種多様です。児童は日々の学びを通して少しずつ力をつけながら成長していきますが、その積み重ねが自分や社会を切り拓いていく力となり、自分や社会の幸せにつながらなければなりません。将来自らが享受する幸せの形も人それぞれであることは言うまでもありませんが、それぞれの幸せが社会の幸せにつながり、社会の幸せが自分の幸せにつながるものでなければなりません。Society5.0に代表されるように、今後ますますテクノロジーが発展する未来、一方で、VUCAに代表されるように、先行き不透明な未来を生き抜くためには、児童が学びを通して成長し、自分や社会の未来を拓くことが大切なことであると考えます。

以上のことから、この目標を、児童一人一人の現在地や将来を大切にすよい言葉と捉え、学校教育目標とします。

2 目指す児童像

「未来を拓く児童」を広沢小では次の3つを具体的な児童像とし、学校の教育活動が、児童の育つ環境の醸成につながるよう努めてまいります。

○ 主体的にやりぬく子 「挑戦・責任」

何事にも主体的に取り組み、最後まであきらめずにやり抜く子が育つようにします。

○ みんなを大切にする子 「協働・対話」

友達と協力して物事に取り組んだり、相手の気持ちに寄り添って行動したりできる子が育つようにします。

○ より深く考える子 「深化・創造」

将来、新たな価値を生み出せるようにするために、物事をより深く考える子が育つようにします。

3 目指す学校像

「新しい学びの広沢『笑・楽・幸／省・楽・効』」

○ 学びが楽しい「笑・楽・幸」 大人も子供もワクワク学ぶ。

子供の学びをよりよくするために、大人の学びも充実します。

○ 仕事が楽しい「省・楽・効」 大人も子供も生き生き働く。

大人も子供も一緒に学校をつくっていきます。

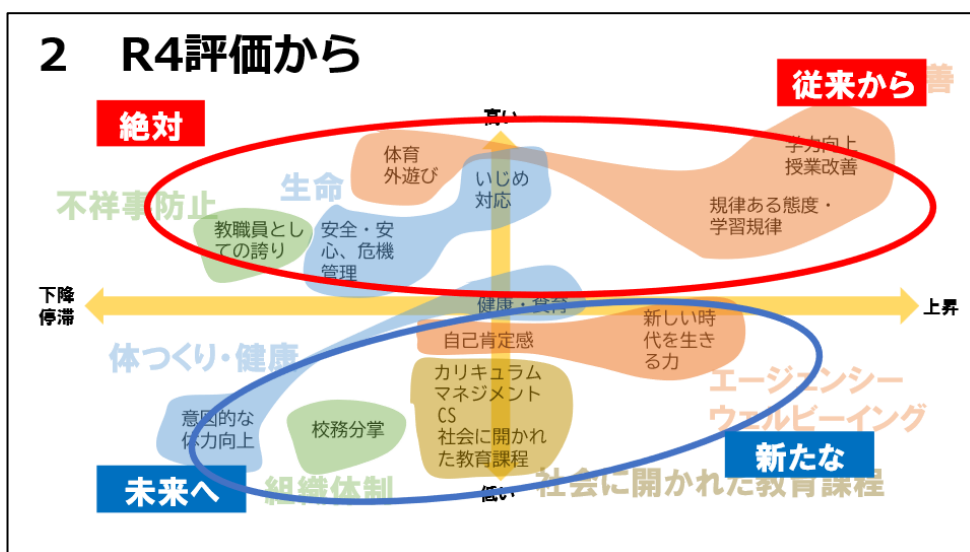
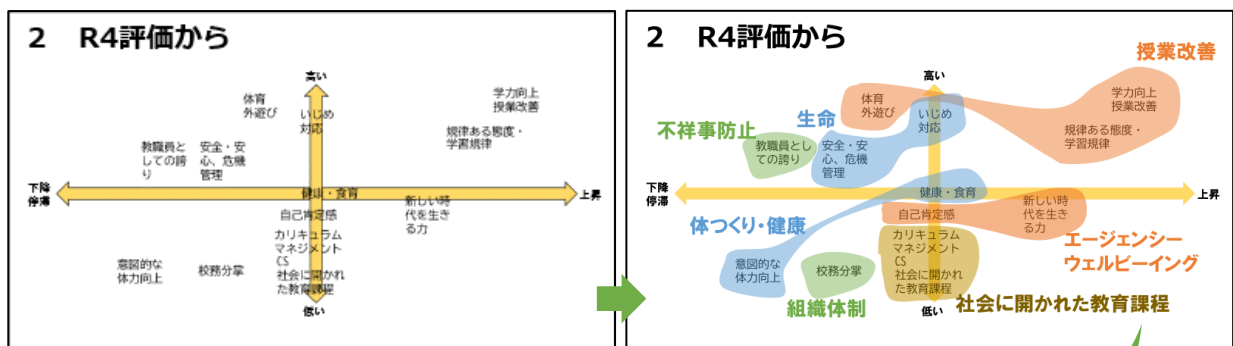
広沢小学校が目指す学校像は、新しい学びを通して、子供も大人も楽しく学び楽しく働く学校であることです。「笑楽幸」は目指す学びのイメージで、笑顔で楽しく幸せになる学びを創造していきます。また「省楽効」は目指す働きのイメージで、振り返り（省察）を大切に、無駄なことは省きつつ、効率的・効果的な働きを通して学校教育を創造していきます。これらのことは子供や大人に限定することなく、全てのステークホルダーが意識していく学校像です。子供たちの学校づくりへの参画も大きな学びの一つと捉え、進めてまいります。

4 本年度の重点目標

学校教育目標の具現化に向け、令和4年度の学校評価を基に、令和5年度の重点目標を、以下の通りとし、重点的に改善を図ってまいります。

(1) 令和4年度の学校評価から

学校評価の評価項目の結果を、「上昇⇔下降」「高いレベル⇔低いレベル」のマトリックスでまとめてみると、令和4年度は、学力向上や生徒指導などいわゆる従来から学校が実践してきたことや、命に係わるようなことや不祥事防止等、教育活動の根底にある大切なもの等への結果は高かった一方、エージェンシー^{※1}やウェルビーイング^{※2}、社会に開かれた教育課程など、これからの子供たちに必要な新たな力の育成、およびコロナ禍で実践に制限が強かった体力向上等に課題があることが分かった。令和5年度はこの結果を生かした重点目標を掲げ、メリハリのある学校教育活動を展開してまいります



※1：目標を設定し、振り返り、責任をもって（主体的に）行為することによって変化を起こす力

※2：幸福のこと。心身と社会的な健康を意味する概念

※1、2はいずれも OECD ラーニングコンパス 2030 で示されている。

(2) 令和5年度の重点目標

教育活動：「笑楽幸」

① コンピテンシーの育成にフォーカスした新たな教育活動の創造

特に「思考力・判断力・表現力」の育成を重視し、指導法改善及びカリキュラム・マネジメントを中心とした教育研究を進め、その成果を生かした教育活動を展開してまいります。

【主な取組】

- 学校課題研究「未来を拓く児童の育成」2年目の研究推進
- 各種学力調査の結果分析とそれに基づく授業改善

② 一人一人に寄り添った生徒指導・教育相談体制等の充実

いじめ防止や不登校対策を進めるとともに、子供たちや保護者がいつでも気軽に相談できる教育相談体制を構築するなど、チーム学校として子供たちの心の成長を支える体制を整備してまいります。

【主な取組】

- 子供も保護者も教職員も独りにしない生徒指導・教育相談体制の確立
- 教育支援センターをはじめとした関係機関との連携強化

③ 体力向上、健康、食等の面から支える児童の体づくり

学校の教育活動の特徴を生かし、子供たちの体力向上や健康の保持増進、食育等の面から児童の体づくりを支えてまいります。

【主な取組】

- ポストコロナにおける新たな体育的行事等の在り方構築
- 家庭や地域と一体となった健康教育や食育の推進

学校づくり：「省楽効」

① 家庭や地域社会とともに進める新しい学校づくりの推進

保護者の会、地域学校協働本部、地区社会福祉協議会など、広沢小学校区ならではの家庭・地域資源を有効に活用した新しい学校づくりを推進してまいります。

【主な取組】

- 教職員のコミュニティ・スクールへの理解促進
- 保護者や地域の方々への学校教育活動への理解や協力の促進

② 個の力量形成と経営改善にコミットした研究・研修の充実

研修の充実を通して、教職員一人一人の力量を形成し、よりよい教育実践を進めるとともに、学校課題を組織で研究し、その改善に努めてまいります。

【主な取組】

- 学校課題研究「未来を拓く児童の育成」2年目の研究推進（再掲）
- 経験や特長等を生かした、教職員同士の学び合い（研修）の醸成

③ 教育効果を高め、働き方改革を推進する学校の組織等体制整備

校務分掌の在り方を見直し、教職員の力を最大限発揮できる教職員の組織体制を構築するとともに、保護者・地域の方々、関係機関等と共に子供たちを育ていく学校の組織体制を整備してまいります。

【主な取組】

- 教職員同士の連携強化と相互支援体制の構築
- 保護者・地域の方々における「学校における働き方改革」への理解促進

【校訓】

ひろい心で さわやかに



学校教育目標

「未来を拓く児童が育つ」



【目指す児童像】

主体的にやりぬく子 「挑戦・責任」

・何事にも主体的に取り組み、最後まであきらめずにやり抜く子が育つようにします。

みんなを大切にする子 「協働・対話」

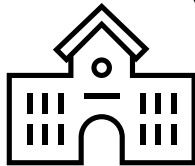
・友達と協力して物事に取り組んだり、相手の気持ちに寄り添って行動したりできる子が育つようにします。

より深く考える子 「深化・創造」

・将来、新たな価値を生み出せるようにするために、物事をより深く考える子が育つようにします。

【目指す学校像】

「新しい学びの広沢『笑・楽・幸／省・楽・効』」



- 学びが楽しい「笑・楽・幸」 大人も子供もワクワク学ぶ。子供の学びをよりよくするために、大人の学びも充実します。
- 仕事楽しい「省・楽・効」 大人も子供も生き生き働く。大人も子供も一緒に学校をつくっていきます。

令和5年度 学校経営方針

【令和5年度 重点目標】

1 教育活動

- ① コンピテンシーの育成にフォーカスした新たな教育活動の創造(R5新)
- ② 一人一人に寄り添った生徒指導・教育相談体制等の充実
- ③ 体力向上、健康、食等の面から支える児童の体づくり(R5新)

2 学校づくり

- ① 家庭や地域社会とともに進める新しい学校づくりの推進(R5改)
- ② 個の力量形成と経営改善にコミットした研究・研修の充実
- ③ 教育効果を高め、働き方改革を推進する学校の組織等体制整備

【学校経営マネジメントのイメージ】

